

6/19
支那

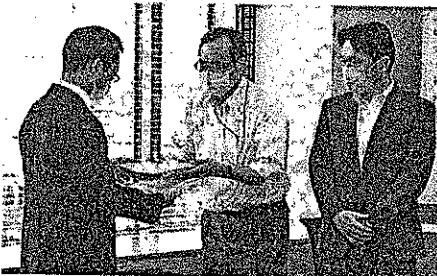
受診控えの補てん急げ

石川県社保協が国に要請

藤野議員が参加

日本共産党的藤野保
史衆院議員と、石川県
社会保障推進協議会は
15日、衆院第2議員会
館で、厚労省に対し
て、新型コロナウイル
スの影響による医療機
関・介護事業所の減収
補てんなどを求める緊
急要請を行いました。

石川社保協は、県内
の医療機関や介護事業
所について、感染を恐
れ、受診控えや利用



のキャンセルによる減
収の具体的なデータを
示して、事業継続が困
難になっている現状を
訴えました。これから
想定される第2波、第
3波に備える必要があ
る中で、国民の命を守
る医療・介護に対する
財政支援を求めまし
た。寺越博之事務局長
は「命とくらしを第一
に考えてほしい。その
ためにも地域医療構想
で病床数を減らす計画

は撤回すべきだ。医療
や教育などの社会的資

本が地域にどうやって
根差すべきか、今一度
考えるべきだ」と求め
ました。

厚労省の担当者は
「医療機関の経営悪化
は認識している。地域
医療を継続していくこ
とが重要だと考えてい
る」と答えました。

藤野氏は「当初予算
ではゼロだったコロナ
対策費が第1次補正、
第2次補正と少しずつ
前進してきた。現場の
要求に基づく減収補て
んを実現すべきだ」と
述べました。